令和５年度　事業報告

令和２年１月に国内で初の感染が確認され、国民生活に大きな影響を与えてきた新型コロナ感染症は、３年以上の期間を経て令和５年５月に感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じくなり、令和５年度は社会・経済活動の回復が進んだ年となった。

農業においては、ロシアのウクライナ侵攻や円安などの影響を受け、飼料や燃料、肥料など生産資材の価格が著しく高騰し、経営を大きく圧迫する状況が続いた。これに対して、国の施策も活用し、農業団体や市町村、県等が緊密に連携しながら、本県農業者への支援を強化し推進した。

このような中、特にも肉用牛の繁殖経営については、黒毛和種の子牛価格が令和５年度に大きく下落したことから、従来の生産者補給金制度と併せて、国が措置した生産者への臨時経営支援を当協会が事業実施主体となって実施した。

また、世界各地で地球温暖化が要因とされる異常気象等が頻発化・激甚化し、本県においても、果樹、野菜等に被害をもたらした４月から５月の降霜・降雪や、夏の記録的な高温があったところであり、農産物の生産・供給に影響を及ぼした。

当協会は、安定した農業経営が図られるよう、国等の支援施策を積極的に推進し、畜産物や青果物の価格下落に迅速に対応した価格安定対策や、果樹産地における生産基盤の強化に向けた対策等を実施し生産者への支援を行った。

令和５年度の価格安定対策事業の加入状況については、肉用子牛個体登録頭数は、約 24,300 頭（前年度比 95.9%）で、青果物等申込数量は、青果物が 31,390 千 kg（同 85.3%）、切り花が 17,286 千本（同 94.7%）であった。
また、価格安定対策の補給金及び生産基盤整備等の補助金の交付総額は、前年度より 11 億 27 百万円余多い 13 億 58 百万円余（前年度比 587.9%）で、その内訳は、畜産部門が 12 億 45 百万円余（同 2,121.6%）、園芸部門が 1 億 13 百万円余（同 65.6%）であった。

具体的には、肉用子牛では、黒毛和種の平均売買価格は、飼料価格高騰等の影響を受けた肥育農家の経営環境の悪化等に伴い大きく下落し、第２四半期と第３四半期に保証基準価格を下回ったことから、販売・保留した 9,990 頭に対し 21 年ぶりに生産者補給金約 3 億 4,000 万円を交付した。
その他の肉専用種（日本短角種等）では、令和４年度の平均売買価格が 252,300 円と保証基準価格を下回ったことから、同じく 1,041 頭に対し、生産者補給金約 7,040 万円（前年度比 774.2%）を交付した。
また、和子牛生産者のセーフティーネットとして令和５年１月から措置された和子牛生産者臨時経営支援事業については、平均価格が発動基準価格を下回った期間

があり、黒毛和種 13,150 頭、褐毛和種 5 頭、その他の肉専用種（日本短角種等）834 頭に対し支援交付金約 4 億 1,600 万円を交付した。

ブロイラーについては、輸入の回復等により指標価格が保証基準価格を下回り、第２四半期以降補てん金約 4 億 1,800 万円（約 7,280 万羽分）を交付した。

園芸部門では、本県の野菜が記録的な猛暑の影響を受け、出荷が大きく減少した。市場入荷量が減少したことから価格は概ね堅調な相場で推移したものの、価格が下落した一部の品目、レタス、キャベツ、生しいたけなどを対象として、補給金約 2,200 万円（青果物等経営安定支援事業を含む、前年度比 22.1%）を交付した。
また、果樹については、例年と同様、改植・新植（採択 13.3ha）や優良品種等への改植後の経営安定（同 13.3ha）を支援した。

以下、令和５年度事業の詳細について報告する。

Ⅰ　令和５年度事業実績について

１．経営安定を図る事業

（１）　価格安定事業

ア　肉用子牛生産者補給金制度（第７業務対象年間〔令和２年度～令和６年度〕の４年度目）

本制度は、肉用子牛生産者の経営安定を図るため、市場価格が保証基準価格を下回った場合に補給金を交付するもので、本年度は引き続き制度への加入を推進した。

令和５年度の子牛個体登録頭数は、黒毛和種が21,166頭（前年度比97.9％）、褐毛和種が60頭（前年度比101.7％）、その他の肉専用種（日本短角種等）が1,022頭（前年度比99.0％）、乳用種が86頭（前年度比9％）、乳交雑種が1,924頭（前年度比118.7％）となり、全体では24,258頭（前年度比95.9％）となった。

生産者積立金の造成額は、60,180,800円（前年度比91.1％）となった。

令和５年度の品種別の実施状況は、黒毛和種では、物価上昇による消費者の節約志向の高まりのなか、和牛肉が敬遠され、末端小売向けの引き合いが弱く枝肉相場は前年を下回って推移したことや、配合飼料価格等の高止まりの影響を受け、肥育生産者の経営収支が悪化したため、第２四半期と第３四半期の平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから、２１年ぶりに販売･保留した9,990頭に対し､補給金339,156,000円を交付した。

褐毛和種は、平均売買価格が保証基準価格を上回ったため、補給金の交付はなかった。

その他の肉専用種は、令和２年度から年間を通じた方式に改定され、令和４年度の平均売買価格は、令和５年４月に252,300円／頭となり、保証基準価格と合理化目標価格を下回ったことから、販売・保留した1,041頭に対し、補給金70,402,830円（前年度比774.2％）を交付した。

また、令和５年度の平均売買価格は、10月以降の短角市場の価格が230千円程度（保証基準価格は325千円／頭）となったが、年間を通じた算定となっていることから補給金の確定・交付は次年度となる。

乳用種は、令和４年度第４四半期の平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、保留した133頭に対し、補給金2,114,700円を交付した。

乳交雑種は、平均売買価格が保証基準価格を上回ったため、補給金の交付はなかった。

全体では、補給金441,673,530円（前年度比1,790.0％）を交付した。

(ｱ)　生産者補給金交付契約者数　（単位：件）

区　分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累　計	備考（令和元年度）
個　人	3,868	2	19	9		3,898	(5,016)
農　協	0	0	0	0		0	(1)
農協連	1	0	0	0		1	(2)
農事組合法人	4	0	0	1		5	(4)
合名・合資	1	0	1	0		2	(0)
株式会社	22	6	2	5		35	(13)
有限会社	16	1	0	1		18	(13)
民法法人	2	0	0	0		2	(3)
合　計	3,914	9	22	16		3,961	(5,052)

※　上記の農協連は、全農岩手県本部

(ｲ)　契約肉用子牛個体登録頭数　（単位：頭）

区分／品種区分	第4四半期 令和5年1月1日～3月31日	第1四半期 令和5年4月1日～6月30日	第2四半期 令和5年7月1日～9月30日	第3四半期 令和5年10月1日～12月31日	合　計
黒毛和種	5,904	4,804	5,031	5,427	21,166
褐毛和種	35	4	7	14	60
その他の肉専用種	56	9	690	267	1,022
乳用種	86	0	0	0	86
乳交雑種	591	492	404	437	1,924
合　計	6,672	5,309	6,132	6,145	24,258

(ｳ)　生産者積立金の造成　（単位：頭、円）

品種区分	個体登録頭数	1頭当たり積立金	生産者積立金	負担区分		
				生産者(1/4)	岩手県(1/4)	機構(1/2)
黒毛和種	21,166	1,600	33,865,600	8,466,400	8,466,400	16,932,800
褐毛和種	60	6,000	360,000	90,000	90,000	180,000
その他の肉専用種	1,022	18,800	19,213,600	4,803,400	4,803,400	9,606,800
乳用種	86	6,800	584,800	146,200	146,200	292,400
乳交雑種	1,924	3,200	6,156,800	1,539,200	1,539,200	3,078,400
合　計	24,258	－	60,180,800	15,045,200	15,045,200	30,090,400

(ｴ)　平均売買価格　（単位：円／頭）

区分 品種区分	第4四半期 令和５年 １月１日 ～ ３月31日	第1四半期 令和５年 ４月１日 ～ ６月30日	第2四半期 令和５年 ７月１日 ～ ９月30日	第3四半期 令和５年 10月１日 ～ 12月31日
黒　毛　和　種	613,600	586,800	521,600	522,500
褐　毛　和　種	523,500	534,000	553,000	574,500
その他の肉専用種	252,300	－		
乳　　用　　種	148,100	170,200	196,900	182,900
乳　交　雑　種	308,200	304,200	299,600	326,600

※その他の肉専用種は、令和４年度第１～４四半期分（令和４年４月～令和５年３月分）

(ｵ)　生産者補給金の交付状況　　（単位：頭、円、件）

区分			第4四半期 令和５年 １月１日 ～ 3月31日	第1四半期 令和５年 ４月１日 ～ 6月30日	第2四半期 令和５年 ７月１日 ～ 9月30日	第3四半期 令和５年 10月１日 ～ 12月31日	合計
黒毛和種	交付対象頭数①	販売	－	－	4,039	4,231	8,270
		保留	－	－	951	769	1,720
		合計	－	－	4,990	5,000	9,990
	②生産者補給金単価（円／頭）		－	－	34,400	33,500	－
	③生産者補給金交付額(①×②)		－	－	171,656,000	167,500,000	339,156,000
	交付対象生産者数		－	－	1,811	1,790	3,601
褐毛和種	交付対象頭数①	販売	－	－	－	－	－
		保留	－	－	－	－	－
		合計	－	－	－	－	－
	②生産者補給金単価（円／頭）		－	－	－	－	－
	③生産者補給金交付額(①×②)		－	－	－	－	－
	交付対象生産者数		－	－	－	－	－
その他の肉専用種	交付対象頭数①	販売	830	－			830
		保留	211				211
		合計	1,041				1,041
	②生産者補給金単価（円／頭）		67,630				67,630
	③生産者補給金交付額(①×②)		70,402,830				70,402,830
	交付対象生産者数		154				154
乳用種	交付対象頭数①	販売	0	－	－	－	0
		保留	133	－	－	－	133
		合計	133	－	－	－	133
	②生産者補給金単価（円／頭）		15,900	－	－	－	15,900
	③生産者補給金交付額(①×②)		2,114,700	－	－	－	2,114,700
	交付対象生産者数		1	－	－	－	1
乳交雑種	交付対象頭数①	販売	－	－	－	－	－
		保留	－	－	－	－	－
		合計	－	－	－	－	－
	②生産者補給金単価（円／頭）		－	－	－	－	－
	③生産者補給金交付額(①×②)		－	－	－	－	－
	交付対象生産者数		－	－	－	－	－
合計	交付対象頭数①	販売	830	－	4,039	4,231	9,100
		保留	344	－	951	769	2,064
		合計	1,174	－	4,990	5,000	11,164
	②生産者補給金単価（円／頭）		－	－	34,400	33,500	－
	③生産者補給金交付額(①×②)		72,517,530	－	171,656,000	167,500,000	411,673,530
	交付対象生産者数		155	－	1,811	1,790	3,756

※その他の肉専用種は、令和４年度第１～４四半期分（令和４年４月～令和５年３月分）

（参考１）　保証基準価格と合理化目標価格　　（単位：円／頭）

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	541,000 556,000	429,000 439,000	
褐毛和種	498,000 507,000	395,000 400,000	
その他の肉専用種	320,000 325,000	253,000 256,000	日本短角種等
乳用種	164,000 164,000	110,000 110,000	
乳交雑種	274,000 274,000	216,000 216,000	乳用種を母とする交雑種

※上段の価格は、令和５年３月３１日まで適用
　下段の価格は、令和５年４月１日から適用

（参考２）　指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種類	体重
黒毛和種	250kg 以上 320kg 以下 230kg 以上 350kg 以下
褐毛和種	260kg 以上 330kg 以下 240kg 以上 370kg 以下
無角和種	200kg 以上 270kg 以下 220kg 以上 330kg 以下
日本短角種	200kg 以上 280kg 以下 180kg 以上 310kg 以下
アンガス種及びヘレフォード種	260kg 以上 310kg 以下 260kg 以上 310kg 以下
ホルスタイン種（雌を除く）	250kg 以上 330kg 以下 240kg 以上 360kg 以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260kg 以上 320kg 以下 270kg 以上 370kg 以下

※上段の規格は、令和４年度第４四半期の平均売買価格算出まで適用
　下段の規格は、令和５年度第１四半期の平均売買価格算出から適用

(ｶ)　生産者積立金等の収支状況

（単位：円）

区分				黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種	合計
期首残高	(1)生産者積立金			105,983,336	756,030	62,701,020	12,491,846	15,572,083	197,504,315
	(2)生産者積立準備金			192,852,575					192,852,575
	内訳	(3)生産者		173,349,414					173,349,414
		(4)岩手県		8,057,645	18,010	8,447,499	1,552,480	1,427,527	19,503,161
		(5)農畜産業振興機構		0	0	0	0	0	0
生産者積立金積立実績	(6)生産者積立金増加額 (9)+(12)+(15)			26,022,400	318,000	14,908,400	572,900	4,780,800	46,602,500
	(7)積立準備金からの繰入 (10)+(13)+(16)			7,843,200	42,000	4,305,200	11,900	1,376,000	13,578,300
	(8)計			33,865,600	360,000	19,213,600	584,800	6,156,800	60,180,800
	内訳	生産者	(9)負担金	2,039,600	63,000	498,200	134,300	562,400	3,297,500
			(10)積立準備金{(3)からの繰入額}	6,426,800	27,000	4,305,200	11,900	976,800	11,747,700
			(11)小計	8,466,400	90,000	4,803,400	146,200	1,539,200	15,045,200
		岩手県	(12)積立助成金	7,050,000	75,000	4,803,400	146,200	1,140,000	13,214,600
			(13)積立準備金{(4)からの繰入額}	1,416,400	15,000	0	0	399,200	1,830,600
			(14)小計	8,466,400	90,000	4,803,400	146,200	1,539,200	15,045,200
		機構	(15)積立助成金	16,932,800	180,000	9,606,800	292,400	3,078,400	30,090,400
			(16)積立準備金{(5)からの繰入額}	0	0	0	0	0	0
			(17)小計	16,932,800	180,000	9,606,800	292,400	3,078,400	30,090,400
他の資金からの繰入状況等	(18)特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額			0	0	0	0	0	0
	(19)調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額			0	0	0	0	0	0
	(20)生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額			0	0	0	0	0	0
	(21)生産者積立金に係る運用益			1,720	12	951	175	243	3,101
	(22)生産者積立準備金に係る運用果実			2,344					2,344
	(23)生産者補給金交付額（生産者積立金部分）			0	0	655,830	0	0	655,830
	(24)生産者積立金からの借入金返済額			0	0	0	0	0	0
	(25)生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額			0	0	0	0	0	0
返還	(26)生産者積立準備金（生産者）			10,171,685					10,171,685
	(27)生産者積立準備金（岩手県）			0	0	0	0	0	0
	(28)生産者積立準備金（農畜産業振興機構）			0	0	0	0	0	0
期末残高	(29)生産者積立金 (1)+(8)+(18)+(19)+(20)+(21)-(23)-(24)-(25)			139,850,656	1,116,042	81,259,741	13,076,821	21,729,126	257,032,386
	(30)生産者積立準備金 (2)-(7)+(22)+(25)-(26)-(27)-(28)			169,104,934					169,104,934
	内訳	(31)生産者 (3)-(10)+{(22)(25)生産者分}-(26)		151,432,128					151,432,128
		(32)岩手県 (4)-(13)+{(22)(25)岩手県分}-(27)		6,641,337	3,010	8,447,616	1,552,502	1,028,341	17,672,806
		(33)農畜産業振興機構 (5)-(16)+{(22)(25)機構分}-(28)		0	0	0	0	0	0

イ　和子牛生産者臨時経営支援事業

本事業は、令和４年５月に急落した肉用子牛価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、和子牛生産者のセーフティーネットを臨時的に措置し、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に販売頭数に応じて支援交付金（平均価格と発動基準価格との差額の４分の３）を交付するものである。

その対象は、肉用子牛生産者補給金制度の契約者で合理化に向けた努力方針（①肉用子牛の出荷月齢の早期化、②繁殖雌牛の初産月齢の早期化、③繁殖雌牛の分娩間隔の短縮等）に取り組む生産者で、令和５年１月～１２月に販売した子牛を対象としてスタートした。

令和５年度の品種別の実施状況は、黒毛和種で第１四半期～第３四半期の平均価格が発動基準価格を下回ったため、販売した13,150頭に対し、支援交付金399,790,000円を交付した。

褐毛和種は、令和４年度第４四半期の平均価格が発動基準価格を下回ったため、販売した５頭に対し、支援交付金54,000円を交付した。

その他の肉専用種は、令和５年１月～１２月の平均価格が発動基準価格を下回ったため、販売した834頭に対し、支援交付金15,732,600円を交付した。

全体では、支援交付金415,576,600円を交付した。

また、国は１２月に本事業の延長（令和６年３月まで販売した子牛を対象）を決め、この支援交付金の交付は次年度となる。

平均価格及び支援交付金の交付状況　　（単位：頭、円、件）

品種区分	対象期間	平均価格	支援交付金			
			①交付対象頭数	②支援交付金単価（円/頭）	③支援交付金交付額（①×②）	交付対象生産者数
黒毛和種	令和５年１月～３月	623,359	－	－	－	－
	令和５年４月～６月	565,303	4,880	26,000	126,880,000	1,868
	令和５年７月～９月	527,338	4,039	33,000	133,287,000	1,677
	令和５年10月～12月	529,588	4,231	33,000	139,623,000	1,666
	計	－	13,150	－	399,790,000	5,211
褐毛和種	令和５年１月～３月	535,473	5	10,800	54,000	4
	令和５年４月～６月	534,966	0	11,200	0	0
	令和５年７月～９月	543,317	0	5,000	0	0
	令和５年10月～12月	565,386	－	－	－	－
	計	－	5	－	54,000	4
その他の肉専用種	令和５年１月～３月	225,689	36	22,500	810,000	13
	令和５年４月～12月		798	18,700	14,922,600	134
	計	－	834	－	15,732,600	147
合　計		－	13,989	－	415,576,600	5,362

※１：黒毛和種の平均価格は、「北海道」、「東北」、「本州関東以西・四国」、「九州・沖縄」の４ブロック別に算定

※２：褐毛和種及びその他の肉専用種の平均価格は全国１ブロックで算定

※３：黒毛和種、褐毛和種は四半期毎、その他の肉専用種は年間（令和５年１～１２月）で平均価格を算定

（参考）　発動基準価格　　（単位：円／頭）

品種区分	発動基準価格
黒毛和種	600,000
褐毛和種	550,000
その他の肉専用種（無角和種、日本短角種、和牛間交雑種）	350,000

ウ　ブロイラー価格安定対策事業（第９業務対象年間〔令和５年度～令和７年度〕の初年度）

本事業は、ブロイラー生産者の経営安定を図るため、指標価格が保証基準価格を下回った場合に補てん金を交付するものである。

令和５年度は、令和４年度の生産費調査を行った結果、農業生産資材費及び飼料等の価格高騰の影響で、生産費が前年度より大幅に増加したため、保証基準価格及び保証下限価格を７月に期中改定した。

令和５年度の計画羽数は、120,074,000羽（前年度比96.1％）で、積立金額は、600,370,000円（前年度比96.1％）となった。

ブロイラー価格は、鳥インフルエンザの発生で滞っていた輸入が回復したこと等により、指標価格が保証基準価格を下回り第２四半期以降は補てんの対象となり、418,313,044円を交付した。

(ｱ)　計画羽数　　（単位：羽）

計画羽数	120,074,000

(ｲ)　積立金の造成　　（単位：円）

区分	積立金	積立（補助）内訳			
		生産者（3/8）	岩手県チキン協同組合（3.5/8）	市町村（0.5/8）	県（1/8）
積立単価（円/羽）	5	1.875	2.1875	0.3125	0.625
120,074,000羽	600,370,000	225,138,750	262,661,875	37,523,125	75,046,250

(ｳ)　指標価格　　（単位：円／kg）

令和５年４月	令和５年５月	令和５年６月	令和５年７月	令和５年８月	令和５年９月	指標価格の算出方法：東京荷受市場における「もも肉」、「むね肉」の正肉１ｋｇ当たりの加重平均価格にそれぞれの部位別割合0.46及び0.54を乗じて得た額の総和
584	576	560	539	515	497	
令和５年10月	令和５年11月	令和５年12月	令和６年１月	令和６年２月	令和６年３月	
498	511	521	525	512	499	

(ｴ)　補てん金の交付状況　　（単位：羽、円）

区　　分		交付対象羽数及び補てん金単価		補てん金交付額
		羽　数	単　価（円／羽）	
第　1 四半期	令和５年　４月	0	－	0
	〃　　５月	0	－	0
	〃　　６月	0	－	0
第　2 四半期	〃　　７月	0	－	0
	〃　　８月	10,403,432	6.3	65,541,535
	〃　　９月	9,943,916	6.3	62,646,583
第　3 四半期	〃　　10月	10,411,309	6.3	65,591,165
	〃　　11月	10,272,379	6.3	64,715,905
	〃　　12月	11,207,594	2.7	30,260,427
第　4 四半期	令和６年　１月	0	－	0
	〃　　２月	9,920,404	6.3	62,498,466
	〃　　３月	10,644,293	6.3	67,058,963
合　　計		72,803,327	－	418,313,044

（参考）　保証基準価格及び保証下限価格　　（単位：円／kg）

区　　分	保証基準価格	保証下限価格
令和５年４月～６月	467	460
令和５年７月～令和８年３月	524	517

(ｵ)　積立金等の収支状況　　（単位：円）

区　　分	積立金	準備金	合　　計
前期繰越額	0	1,483,910,319	1,483,910,319
積立金造成額	599,636,250	－	599,636,250
準備金より繰入額	733,750	－	733,750
積立金へ繰入額	－	733,750	733,750
準備金返還額	－	1,467,176,597	1,467,176,597
運用益	693	11,673	12,366
交付額	418,313,044	－	418,313,044
準備金へ繰入額	0	－	0
積立金より繰入額	－	0	0
次期繰越額	182,057,649	16,011,645	198,069,294

エ　青果物等価格安定事業

本事業は、生産者が農協、全農岩手県本部を通じて出荷した青果物等の価格が下落した場合に、補給金の交付を通じて経営の安定を支援するもので、指定野菜価格安定対策事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業、県単青果物等価格安定事業の３事業で構成されている。

(ｱ)　申込数量と資金造成額

令和５年度の申込数量は、青果物 31,390 千 kg(前年度比 85.3%)、切花（りんどう・小菊）17,286 千本(前年度比 94.7%)で、資金造成額は 1,869,338,436 円(前年度比 87.6%)であった。

事業別申込数量と資金造成額　（単位：円、%）

事業名	申込数量	前年度比	資金造成額	前年度比
県単青果物等			191,348,400	89.3
（青果物）	(2,317,000 kg)	(83.9)	(102,212,000)	(85.4)
（切　花）	(17,286,000 本)	(94.7)	(89,136,400)	(94.2)
（花壇苗）	(0 ﾄﾚｰ)	(-)	(0)	(-)
特定野菜等育成	2,355,000 kg	96.2	198,024,036	91.2
指　定　野　菜	26,718,000 kg	84.5	1,479,966,000	86.9
合　　計			1,869,338,436	87.6
（青果物）	(31,390,000 kg)	(85.3)	(1,780,202,036)	(87.3)
（切　花）	(17,286,000 本)	(94.7)	(89,136,400)	(94.2)
（花壇苗）	(0 ﾄﾚｰ)	(-)	(0)	(-)

(ｲ)　野菜等の販売状況及び補給金等の交付状況

野菜は、これまでに経験のない高温障害により出荷が大きく減少した。

一方、市場入荷量が減少したことから、価格は概ね堅調な相場で推移した。

花きも、主力のりんどう・小菊ともに高温障害により市場入荷量が大きく減少したことから、概ね堅調な相場で推移した。

このことから、価格が下落した一部の品目、レタス（結球）、キャベツ、生しいたけ、レタス（非結球）などを対象として補給金 21,187,815円（前年度比22.7%）を交付した。

事業別補給金等交付額　　（単位：円、％）

事業名	交　付　額	前年度比
県単青果物等	5,992,140	38.2
（青果物）	(5,992,140)	(66.1)
（花　き）	(0)	(-)
特定野菜等育成	652,675	1.9
指　定　野　菜	14,543,000	33.7
合　　計	21,187,815	22.7
（青果物）	(21,187,815)	(24.5)
（花　き）	(0)	(-)

品目別補給金等交付額　　（単位：円、％）

品　目	交　付　額	構成比	前年度比
１.レタス（結球）	6,700,730	31.6	84.7
２.キャベツ	4,014,000	18.9	14.4
３.生しいたけ	3,061,001	14.5	50.0
４.レタス（非結球）	2,373,391	11.2	30.0
５.スイートコーン	1,362,051	6.4	605.1
６.その他	3,676,642	17.4	-
合　　計	21,187,815	100.0	22.7

オ　青果物等経営安定支援事業

本事業は、青果物等価格安定事業を補完することを目的とする事業である。

(ｱ)　通常補給金加算

本事業は、補てん率が 80％である特定野菜等育成事業及び県単青果物等事業の品目に対し、10％の補給金を加算交付するもので、令和５年度は、生しいたけ、スイートコーン等に対し 830,820 円（前年度比 13.2％）を交付した。

(ｲ)　異常低落時補給金交付

本事業は、青果物等価格安定対策事業の対象野菜等の価格が最低基準額を下回った場合に、補給金を交付するもので、令和５年度は、だいこんに対して補給金 4,694 円（前年度比 1,422.4％）を交付した。

事業別補給金交付額　（単位：円、％）

事業名	交付額			前年度比
	通常加算	異常低落	計	
県単青果物等事業	749,222	4,694	753,916	38.5
特定野菜等育成事業	81,598	0	81,598	1.9
指定野菜事業	－	0	0	－
計	830,820	4,694	835,514	13.3

品目別補給金交付額　（単位：円、％）

品　目	交　付　額			前年度比
	通常加算	異常低落	計	
1.生しいたけ	382,668	0	382,668	50.0
2.スイートコーン	170,367	0	170,367	604.8
3.えだまめ	83,854	0	83,854	12.1
4.ブロッコリー	58,712	0	58,712	38.8
5.だいこん	46,318	4,694	51,012	153.3
6.その他	88,901	0	88,901	－
合　　計	830,820	4,694	835,514	13.3

（２）　生産基盤強化事業

ア　肉用牛繁殖経営サポート事業

本事業は、黒毛和種繁殖経営の生産性向上や増頭による所得拡大を支援するものである。

令和５年度は、生産者個々の繁殖成績や枝肉情報等を記載した「モット一君通信簿」を肉用子牛生産者補給金制度加入生産者（2,541 戸）に提供した。

イ　果樹農業生産力増強総合対策事業

(ｱ)　果樹経営支援対策事業

本事業は、産地が策定した「果樹産地構造改革計画」に基づき、生産者が行う果樹の改植・新植や小規模園地整備等を支援するものである。

a　事業実施計画

５農協管内の７産地協議会におけるりんごの改植 8.7ha、ぶどうの改植 0.4ha、りんご等の新植 4.2ha、小規模園地整備 0.7ha 等の取組に対し、補助金 43,026,048 円(前年度比 71.5%)の交付決定を行った。

令和５年度補助金交付決定額等　（単位：円）

事業費	補助金交付決定額	備　　考
44,061,212	43,026,048	令和６年度事業完了予定

b　補助金交付

令和４年度に補助金交付決定した、６農協管内の９産地協議会におけるりんごの改植 10.8ha、ぶどうの改植 0.2ha、りんごの新植 4.6ha、ぶどうの新植 0.3ha、その他の果樹の改植・新植 0.3ha、小規模園地整備 0.2ha の取組が完了し、補助金 52,591,464 円(前年度比 118.7%)を交付した。

補助金交付額　（単位：円）

区　分	事業費	補助金交付額
令和４年度交付決定分	54,210,340	52,591,464

(ｲ)　果樹未収益期間支援事業

本事業は、果樹経営支援対策事業により優良品種等に改植・新植した後、十分な収量が得られるまでの期間(４年間)における経費の一部を補助するものである。

a　事業実施計画

５農協管内の７産地協議会におけるりんごの改植 8.7ha、ぶどうの改植 0.4ha、りんご等の新植 4.2ha に対し、補助金 28,795,180 円(前年度比 71.1%)の交付決定を行った。

令和５年度補助金交付決定額等　（単位：円）

事業費	補助金交付決定額	備考
29,184,100	28,795,180	令和６年度事業完了予定

b　補助金交付

令和４年度に補助金交付決定した、６農協管内の８産地協議会におけるりんごの改植 10.8ha、ぶどうの改植 0.2ha、りんごの新植 4.6 ha、ぶどうの新植 0.3ha、その他の果樹の改植・新植 0.3ha に対し、補助金 35,339,620 円(前年度比 123.9%)を交付した。

補助金交付額　（単位：円）

区　分	事業費	補助金交付額
令和４年度交付決定分	35,689,940	35,339,620

(ｳ)　果樹先導的取組支援事業

本事業は、果樹産地の生産基盤を強化するため、省力樹形や消費者ニーズに対応した品目等への転換、小規模園地整備等を実施する担い手に対し、支援を行うものである。

令和５年度事業では、２産地協議会において、用水かん水の整備及び防霜設備の整備に対し、補助金 3,074,787 円を交付した。

補助金交付額　（単位：円）

区　分	事業費	補助金交付額
令和５年度交付決定分	6,149,574	3,074,787

２．その他、関連事業

（１）　事業運営委員会の開催

ブロイラー価格安定対策事業運営委員会

ブロイラー価格安定対策事業の実施事業、第９業務対象年間（令和５年度～令和７年度）に係る保証基準価格及び保証下限価格の改定について、県・市町村・関係団体等の課長等で構成する運営委員会で協議した。

（２）　事業推進会議の開催

農畜産物価格安定対策の円滑な推進や、適正な事務処理が実施できるよう、事務委託先等の実務担当者と連携を密にするとともに、担当者会議を開催したほか、生産現場に出向いて調査指導等を行った。

（３）　第２５回全国果樹技術・経営コンクール

生産技術や経営方式等において、他の模範となる先進的な農業者、生産者団体を表彰するコンクール（公益財団法人中央果実協会等果樹関係５団体の主催）において、当協会が推薦した花巻農業協同組合管内（矢沢地区）の「佐藤秀明氏・佐藤徹氏」親子が生食用ぶどうの高品質栽培と加工品（レーズン、ジュース）の６次産業化による高付加価値販売等の取り組みが評価され、農林水産省農産局長賞を受賞した。

（４）　共進会への協賛

県内各区域において開催される畜産共進会に協賛し、入賞者に褒賞を授与した。

※褒賞を授与した地区　　１５地区

（５）　広報活動

畜産物や青果物における平均売買価格や補給金交付単価、補給金等の交付状況及び新規事業等の情報をホームページへリアルタイムで掲載し、安定した農業経営の確立を支援した。

また、事業に関する諸様式等の情報も併せてホームページに掲載し、事業の円滑かつ効率的な運営を支援した。

Ⅱ　事業推進経過

１．全体事項

年　月　日	処 理 事 項	場　所
5.　5.　1	公認会計士による会計指導	オンライン対応
5.　11	第４回岩手県農業生産資材・飼料等価格高騰対策会議	産業会館
5.　18	監事監査（神田監事、菅原監事、千田監事）	第二産業会館
6.　8	役員候補者推薦会議	第二産業会館
6.　9	第１回理事会	産業会館
6.　29	第２回理事会	産業会館
6.　30	第５３回定時総会	産業会館
6.　30	第３回理事会	産業会館
9.　5	運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査	第二産業会館
10.　19	公認会計士による会計指導	第二産業会館
11.　22	第４回理事会	産業会館
12.　13	財政的援助団体等に係る監査（県による予備監査）	第二産業会館
6.　1.　9	令和５年度いわて農林水産躍進大会	県民会館
2.　9	財政的援助団体等に係る監査（県による本監査）	第二産業会館
3.　6	公認会計士による会計指導	オンライン対応
3.　21	第５回理事会	産業会館

２．畜産関係

年　月　日	処 理 事 項	場　所
5.　4.　21	令和５年度畜産酪農飼料事業推進会議	アートホテル盛岡
4.　26	第７回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	オンライン参加
5.　24	令和５年度ブロイラー価格安定対策事業運営委員会	産業会館
6.　6	令和５年度いわて肉用牛躍進運動推進協議会幹事会	第二産業会館

年　月　日	処 理 事 項	場　所
6.　9	令和５年度肉用子牛生産者補給金制度に係る全国説明会	オンライン参加
6.　13	令和５年度いわて肉用牛躍進運動推進協議会総会	第二産業会館
6.　20	（一社）全国肉用牛振興基金協会　令和５年度定時総会	東京都文京区
6.　30	（一社）岩手県畜産協会　第９１回定時総会	産業会館
8.　28	日本短角種振興協議会第３８回通常総会及び 令和５年度研修会	秋田県鹿角市
9.　6	令和５年度肉用子牛生産者補給金制度に係る財務管理 システム全国説明会	オンライン参加
9.　11	令和５年度短角市場運営会議	全農いわて 中央家畜市場
9.　12	令和５年度和子牛生産者臨時経営支援事業に係る全国説明会	オンライン参加
9.　25	令和５年度家畜市場運営担当者会議	全農いわて 中央家畜市場
9.　27	令和５年度肉用子牛生産者補給金制度等に係る現地 調査（～9/29）	第二産業会館等
10.　4	第８回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	オンライン参加
10.　26	令和５年度肉用子牛価格安定基金東北・北海道ブロック協議会	秋田県秋田市
10.　27	令和５年度肉用子牛補給金運営適正化事業に係る東北・北海道ブロック研修会	秋田県秋田市
10.　31	令和５年度家畜市場運営会議	全農いわて 中央家畜市場
11.　1	日本短角種シンポジウム	マリオス
12.　7	令和５年度肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に係る推進会議	アピオ
12.　25	令和５年度和子牛生産者臨時経営支援事業（延長）及び令和６年度優良和子牛生産推進緊急支援事業に係る全国説明会	オンライン参加
6.　1.　22	令和５年度いわて牛の集い	東京都品川区
1.　23	第３４回いわて牛枝肉共励会	東京都港区
2.　1	第９回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	オンライン参加
2.　7	令和５年度肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会 （～2/8）	東京都港区
2.　9	肉用子牛生産者補給金制度等に係る担当者会議	オンライン開催
3.　18	（一社）岩手県畜産協会　令和５年度臨時総会	産業会館
3.　27	令和５年度肉用子牛生産者補給金制度及び和子牛生産者臨時経営支援事業に係る全国説明会	オンライン参加

３．園芸関係

年　月　日	処 理 事 項	場　所
5.　5.　8	青果物価格安定事業担当者基礎研修会	新岩手農協
5.　9	重要野菜等の生産出荷等状況の現地確認 （5/9～2/8　のべ１９回実施）	新岩手農協　他
5.　16	令和５年度いわて純情野菜販売対策会議	盛岡グランドホテル
5.　17	令和５年度果樹経営支援対策事業等全国説明会	東京都港区
5.　22	令和５年度岩手県青果物生産出荷安定協議会総会	岩手県庁
5.　23	令和５年度野菜価格安定対策事業実務担当者説明会（～5/24）	オンライン参加
6.　2	令和５年度岩手県農業保険加入推進協議会通常総会 並びに第１回推進会議	岩手県農業共済 組合
6.　7	令和５年度花き販売対策会議	ホテルニューカリーナ
6.　14	第２５回全国果樹技術・経営コンクール岩手県事務局員会議	第二産業会館
7.　27	第４９回東北・北海道青果物価格安定対策事業連絡協議会	宮城県仙台市
8.　31	令和５年度九州・沖縄と北海道・東北地区協会の交流会 （～9/1）	秋田県秋田市
9.　12	第２５回全国果樹技術・経営コンクール岩手県審査会	第二産業会館
9.　15	令和５年度第２回岩手県農業保険加入推進会議	岩手県農業共済 組合
11.　9	第３９回果実基金制度落葉果樹連絡協議会（～11/10）	盛岡グランドホテル 他
11.　15	国産花粉確保対策に向けた説明会	オンライン参加
12.　6	収入保険と野菜価格安定制度の同時利用の特例に関する全国説明会	オンライン参加
6.　2.　7	令和６年度大規模契約栽培産地育成強化推進事業の公募説明会	オンライン参加
2.　15	第２５回全国果樹技術・経営コンクール表彰式	東京都千代田区
2.　16	令和５年度道県果実基金協会業務運営協議会	オンライン参加
3.　7	令和５年度東北・北海道青果物価格安定対策事業連絡協議会 事務局長会議	秋田県秋田市

Ⅲ　総会及び役員会

１．総会

(1)第 53 回定時総会

ア　日　　時　　令和 5 年 6 月 30 日（金）　午前 10 時 45 分

イ　場　　所　　盛岡市大通一丁目 2 番 1 号　産業会館 7 階大ホール

ウ　出 席 者　　51 会員（本人出席 10 会員、委任状出席 41 会員）

エ　議　　事

議　案

第 1 号議案　令和 4 年度計算書類及び財産目録の承認について

第 2 号議案　役員の選任について

２．役員会

(1) 第 1 回理事会

ア　日　　時　　令和 5 年 6 月 9 日（金）　午後 2 時

イ　場　　所　　盛岡市大通一丁目 2 番 1 号　産業会館 5 階　特別会議室

ウ　出 席 者　　理事 10 名　　監事 2 名

エ　議　　事

(ｱ) 議　案

第 1 号議案　特定野菜等供給産地育成価格差補給事業業務方法書の一部改正について

第 2 号議案　果樹農業生産力増強総合対策事業業務方法書の一部改正について

第 3 号議案　令和 4 年度事業報告、計算書類及びその付属明細書、財産目録並びに資金収支計算書の承認について

第 4 号議案　肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の返還について

第 5 号議案　肉用子牛生産者補給金制度に係る事務委託について

第 6 号議案　ブロイラー価格安定対策事業に係る保証基準価格及び保証下限価格の改定について

第 7 号議案　ブロイラー価格安定対策事業に係る準備金の返戻について

第 8 号議案　第 53 回定時総会の招集及び付議すべき事項について

(ｲ) 職務の執行状況報告

(2) 第2回理事会

ア　日　　時　　令和5年6月29日（木）　午後0時50分

イ　場　　所　　盛岡市大通一丁目2番1号　産業会館　5階　特別会議室

ウ　出 席 者　　理事7名　　監事1名

エ　議　　事

議　案

第1号議案　第53回定時総会に付議すべき事項について

（ 総会提出議案　第2号議案　役員の選任について ）

(3) 第3回理事会

ア　日　　時　　令和5年6月30日（金）　午後0時

イ　場　　所　　盛岡市大通一丁目2番1号　産業会館　5階　特別会議室

ウ　出 席 者　　理事8名　　監事3名

エ　議　　事

議　案

第1号議案　　役付理事の選定について

(4) 第4回理事会

ア　日　　時　　令和5年11月22日（水）　午前10時55分

イ　場　　所　　盛岡市大通一丁目2番1号　産業会館　5階　特別会議室

ウ　出 席 者　　理事10名　　監事1名

エ　議　　事

(ｱ) 職務の執行状況報告

(ｲ) 議　案

第1号議案　　令和 5 年度事業計画書、収支予算書の変更及び資金収支予算書の補正について

(5) 第5回理事会

ア　日　　時　　令和6年3月21日（木）　午前10時55分

イ　場　　所　　盛岡市大通一丁目2番1号　産業会館　5階　特別会議室

ウ　出 席 者　　理事11名　　監事3名

エ　議　　事

(ｱ) 職務の執行状況報告

(ｲ) 議　案

第1号議案　令和6年度事業計画書、収支予算書、資金収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案　調整積立金の普通財産への繰入れについて

第3号議案　令和6年度借入金限度額について

(6) 監事監査

ア　日　　時　　令和5年5月18日（木）　午前11時

イ　場　　所　　盛岡市菜園一丁目4番10号　第二産業会館　209号会議室

ウ　監査事項　　令和4年度業務監査

Ⅳ　会員数及び長期預り金

（単位：千円）

	会員数	長期預り金			
		肉用子牛	青果物	果　実	合　計
（公財）中央果実協会	1	－	－	15,000	15,000
岩手県	1	350,000	139,550	7,500	497,050
市町村	33	176,920	62,850	－	239,770
全国農業協同組合連合会	1	70,000	40,890	2,100	112,990
岩手県信用農業協同組合連合会	1	41,000	8,140	600	49,740
全国共済農業協同組合連合会	1	14,600	3,820	300	18,720
農業協同組合	10	48,460	44,850	5,390	98,700
（一社）岩手県配合飼料価格安定基金協会	1	2,230	－	－	2,230
（公社）岩手県農産物改良種苗センター	1	－	－	50	50
岩手県農業協同組合中央会	1	－	－	－	－
合計	51	703,210	300,100	30,940	1,034,250

参考：長期預り金市町村別・農協別明細表

（市町村）　　（単位：千円）

	肉用子牛	青果物	果　実	合　計
盛　岡　市	8,120	10,860	－	18,980
宮　古　市	6,710	2,460	－	9,170
大船渡市	2,030	1,310	－	3,340
花　巻　市	10,360	4,650	－	15,010
北　上　市	3,980	2,190	－	6,170
久　慈　市	3,930	1,360	－	5,290
遠　野　市	9,760	1,860	－	11,620
一　関　市	31,190	3,940	－	35,130
陸前高田市	850	790	－	1,640
釜　石　市	1,640	2,150	－	3,790
二　戸　市	5,000	2,120	－	7,120
八幡平市	9,130	5,210	－	14,340
奥　州　市	30,100	4,660	－	34,760
滝　沢　市	2,360	1,350	－	3,710
雫　石　町	8,580	1,190	－	9,770
葛　巻　町	1,890	920	－	2,810
岩　手　町	3,620	1,990	－	5,610
紫　波　町	5,740	2,600	－	8,340
矢　巾　町	2,880	1,770	－	4,650
西和賀町	3,220	180	－	3,400
金ヶ崎町	4,440	430	－	4,870
平　泉　町	2,570	250	－	2,820
住　田　町	1,160	300	－	1,460
大　槌　町	980	580	－	1,560
山　田　町	960	600	－	1,560
岩　泉　町	3,580	510	－	4,090
田野畑村	650	220	－	870
普　代　村	640	140	－	780
軽　米　町	2,820	730	－	3,550
野　田　村	580	170	－	750
九　戸　村	1,380	560	－	1,940
洋　野　町	2,800	900	－	3,700
一　戸　町	3,270	3,900	－	7,170
計(33)	176,920	62,850	－	239,770

（農　協）　　（単位：千円）

	肉用子牛	青果物	果　実	合　計
新 岩 手 農 協	16,580	16,690	1,270	34,540
岩 手 中 央 農 協	3,230	8,040	1,510	12,780
花　巻　農　協	7,870	8,540	320	16,730
岩手ふるさと農協	4,820	3,540	70	8,430
岩 手 江 刺 農 協	3,850	2,480	40	6,370
いわて平泉農協	9,260	3,050	1,110	13,420
大 船 渡 市 農 協	1,230	2,510	1,070	4,810
岩手中央酪農協	770	－	－	770
九 戸 畜 産 農 協	30	－	－	30
岩 手 花 平 農 協	820	－	－	820
計(10)	48,460	44,850	5,390	98,700